

軽度障害を伴う聴覚障害児の実態とその指導法
に関する研究

平成 19～21 年度 科学研究費補助金（基盤研究（C））

研究成果報告書

（課題番号 19530864）

平成 22 年 3 月

研究代表者 濱田豊彦

（東京学芸大学准教授）

研究全体の概要と目的

「9歳の峠」ということばが示すように、聴覚障害児には言語や抽象的思考において発達に困難を示す者がいることが指摘される。しかし聴覚障害児の言語や社会性の発達は個人差が大きく、全てが困難を示すわけではなく年齢相応の言語発達等を示す者もいる。近年の手話や人工内耳を活用した教育においても、年齢相応の発達を遂げる群と停滞する一群があることが明らかになっている (Greag, R 2006)。これまで聴覚障害児教育においては言語指導が重要な領域となってきたが、停滞する一群の認知特性や注意などに関して焦点が当てられることは我が国ではほとんどなかった。

アメリカでは指摘があるように (ASHA 1984)、言語発達に困難を示す聴覚障害児の中にはいわゆる発達障害 (学習障害、ADHD、高機能自閉症等) を併せ持つ者が通常児以上の高い率で一定規模でいると考えられる。しかし、発達障害ゆえの読み書きの困難や行動上の不適応は聴覚障害によっても引き起こされることがありその鑑別に困難がある。それ故、日本の聴覚障害児教育の130年の中で発達障害を併せ持つ事例に関する研究が行われることがなく見逃してきた課題となっていた。

近年、人工内耳の早期からの活用が音声言語能力の獲得に有効であるとの知見がもたらされてきているが、その中であって、聴力は改善したにも関わらず期待された言語力の獲得が困難な事例についての研究が散見されるようになってきた。また、手話を聾学校幼稚部段階から積極的に導入するようになり、手話コミュニケーションの能力から見て書記言語の習得が極端に遅れる事例について発達障害の可能性について我々は報告を行ってきた。しかしながら、教育現場の理解はまだ十分とは言い難い。

そこで、本研究では以下の4点を柱として、研究を進めていくこととした。

- 1) 聴覚障害児の中にいわゆる発達障害を併せ持つ子どもが、どのくらいの比率で存在し、現在どのような教育支援を受けているのかについて、聾学校だけでなく難聴学級も含め全国の実態を明らかにすることを第一の目的とした。
- 2) また、1) の全国実態調査を基に、発達障害合併事例の類型化を行うと共に、各タイプの困難状況を明らかにすることを第二の目的とした。
- 3) 2) の類型化研究で得られた知見を基に、そのタイプごとの典型事例を抽出し継続的な教育支援による効果と変容をまとめることを第三の目的とした。
- 4) 発達障害をともなう聴覚障害児への早期介入を目的に聴覚障害児の音韻意識の発達との関連から、発達障害様の困難事例の抽出を試みることを第4の目的とした。

本報告書は平成19年～21年度の成果を示したものである。研究を実施するにあたり、多くの子どもたち先生方に協力をいただいた。ここに感謝申し上げます。

2010年3月

研究代表 濱田豊彦

1. 研究組織

研究代表者：濱田豊彦（東京学芸大学 教育学部）

研究分担者：藤野博（東京学芸大学 教育学部）

研究協力者：大鹿綾（東京学芸大学大学院連合学校教育専攻）

近藤史野（東京学芸大学大学院教育学研究科）

濱崎久美子（愛育会 金町学園）

荒川早月 臼井なずな 下谷喜美子（都立大塚ろう学校）

2. 研究費

平成 19 年度 2,210 千円

平成 20 年度 910 千円

平成 21 年度 1,430 千円

3. 研究業績

(1) 論文

大鹿綾, 平田正吾, 濱田豊彦, 國分充 (2008) P R S を用いた発達障害様困難を持つ聴覚障害児の特徴に関する一考察 —類型化の試み—. 学校教育学研究論集, 18, 107-119.

大鹿綾, 濱田豊彦 (2008) L D を併せ有する聴覚障害児の事例報告と教育的支援に関する一考察—音読の流暢性について—. 東京学芸大学紀要 総合教育科学系, 59, 387-394.

濱田豊彦, 大鹿綾 (2009) 発達障害のある聴覚障害児に対する教師の印象判断に関する一研究. 東京学芸大学紀要 総合教育科学系, 60, 389-396.

大鹿綾, 濱田豊彦 (2009) 発達障害様の困難のある聴覚障害児の典型事例の抽出とその特徴に関する研究. 東京学芸大学紀要 総合教育科学系, 60, 397-406.

長島理英, 濱田豊彦 (印刷中) 手話併用環境にある聴覚障害児の音韻意識の経時的変化に関する検討 —かな単語書字の成立との対比から—. 聴覚言語障害

大鹿綾, 濱田豊彦 (印刷中) 学習面・行動面に著しい困難のある聴覚障害児の類型に関する一考察. 特殊教育学研究, (印刷中)

(2) 学会発表等

大鹿綾, 濱田豊彦 (2007) 聴覚障害に軽度発達障害を併せ持つ児童の実態に関する一考察 全国アンケート調査の試み. 日本特殊教育学会第45回大会発表論文集, 534.

下谷喜美子, 大鹿綾, 濱田豊彦 (2007) かな単語の習得に困難がある聴覚障害

- 児に対する記憶方略の検討 ―軽度発達障害を伴う聴覚障害児 3 事例による検討―. 日本特殊教育学会第45回大会発表論文集, 539.
- 濱田豊彦, 大鹿綾 (2007) A D S を併せ持つ聴覚障害児へのソーシャルスキルトレーニング 1 ―ソーシャルナラティブの適応方法の検討―. 日本特殊教育学会第45回大会発表論文集, 796.
- 濱田豊彦, 大鹿綾 (2008) 聾学校における発達障害児に関する調査研究 (1) ―聾学校教員の印象判断を中心に―. 日本特殊教育学会第46回大会発表論文集, 570. 米子 08.09.21
- 大鹿綾, 濱田豊彦 (2008) 聾学校における発達障害児に関する調査研究 (2) ―チェックリストによる子どもの類型化とその特徴―. 日本特殊教育学会第46回大会発表論文集, 572. 米子 08.09.21
- 濱田豊彦, 長島理英, 大鹿綾 (2008) 重度聴覚障害児の音韻意識の発達とかな単語書字の形成に関する研究. 音声言語医学, 50(1), 71. 三原 08.10.24
- 大鹿綾, 濱田豊彦 (2008) P R S (LD児・ADHD児診断のためのスクリーニング・テスト) を用いた発達障害様の困難のある聴覚障害児の類型化と特徴. 音声言語医学, 50(1), 41. 三原 08.10.23.
- Toyohiko HAMADA,Aya OSHIKA(2009) A SURVEY OF STUDENTS WITH HEARING IMPAIRMENT AND DEVELOPMENTAL DISABILITIES IN JAPAN. Abstract Book of 10th Asia Pacific Congress on Deafness , 93.Bangkok,09.08.08
- Aya OSHIKA,Toyohiko HAMADA(2009) A SURVEY ON CLUSTERING IMPAIRED CHILDREN HAVING ADDITIONAL DEVELOPMENTAL DISABILITIES. Abstract Book of 10th Asia Pacific Congress on Deafness , 94. Bangkok,09.08.08
- 濱田豊彦, 近藤史野, 大鹿綾 (2009) 手話併用環境の聴覚障害幼児の音韻意識の発達―音韻分解成績の縦断変化―. 日本特殊教育学会第 47 回大会発表論文集, 514. 宇都宮
- 近藤史野, 濱田豊彦, 大鹿綾 (2009) 聴覚障害児の指文字の成立とその模倣に関する一研究―指文字の成立という観点から―. 日本特殊教育学会第 47 回大会発表論文集, 513. 宇都宮
- 大鹿綾, 濱田豊彦, 近藤史野 (2009) アスペルガーを併せ有する聴覚障害児の変容に関する一考察 . 日本特殊教育学会第47回大会発表論文集, 350. 宇都宮

目 次

研究 1	
ろう学校における発達障害を合併する聴覚障害児に関する調査 ー単純集計ー	1
研究 2	
難聴特別支援学級・通級指導教室における全国実態調査	2 0
研究 3	
発達障害のある聴覚障害児の類型化	3 6
研究 4	
発達障害のある聴覚障害児に対する評価基準の検討	4 3
研究 5	
音韻意識の発達過程からみた発達障害合併事例の一検討	5 9
アジア太平洋地域聴覚障害問題会議報告 ーSetsatian ろう学校の見学を通してー	7 0
巻末資料	
ろう学校用アンケート	
ろう学校幼稚部アンケート	
ろう学校小中学部アンケート	
難聴学級用アンケート	